

教養科目 シラバス

100003			
科目名	人間学	年次配当	2年次
担当者	荒井 優	開講時期	前期
所属	国際文化交流学科	資格選択区分	上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	若干名

授業概要

人間とは何か？ 人生いかに生きるべきか？ この問題を、主としてユング、キューブラー＝ロス、ヴィクトール・フランクルなどの心理学あるいは精神医学を手引きとして、またさまざまな哲学をまじえながら、考えてゆきたい。

到達目標

「人間とは何か」「自分とは何か」「人生をどう生きて行くか」について考えるための見本として、ユング、キューブラー＝ロス、フランクルの基本的人間観を理解する。

教材

教科書(テキスト)
指定しない

テキスト以外
参考文献は授業中に紹介する

評価方法

筆記試験100% (ただし出席を前提とする)

学生に対するメッセージ (準備学習等)

人生の失敗や人生の苦しみは、「自分」というものについての思い違いからきていることが多い。ユングやキューブラー＝ロス、ヴィクトール・フランクルを通して、まずは自己を解放してみよう！ そして人生の幸福、人生の喜びはどうすれば得られるのか、いっしょに考えてみよう。

授業計画

- 1 「人間学」について
- 2 ユングの深層心理学 (1) 意識と無意識
- 3 " (2) ペルソナ
- 4 " (3) シャドー
- 5 " (4) アニマとアニムス
- 6 " (5) 自己・神
- 7 キューブラー＝ロスの「死ぬ瞬間」 (1) 否認
- 8 " (2) 怒り
- 9 " (3) 取引
- 10 " (4) 抑鬱
- 11 " (5) 受容
- 12 フランクルの人生の意味 (1) 人生の意味
- 13 " (2) 人生観の転換
- 14 " (3) 人生の3つの意味
- 15 " (4) 超意味

教養科目 シラバス

100014			
科目名	心理学	年次配当	2年次
担当者	河村 壮一郎	開講時期	前期
所属	生活学科 住居・デザイン専攻	資格選択区分	上級情報処理士資格選択必修 情報処理士資格選択必修
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	10名

授業概要

心理学は、人間の心や行動の法則性を明らかにし、その知識を実際の生活場面に役立てようとしています。授業ではその基礎的な知見を具体的に紹介し、心に対する科学的アプローチを示していきます。心理学が扱う内容は多岐にわたるため、領域ごとにテーマをしぼって講義をすすめます。

到達目標

心を客観的に把握しようとする考え方やその方法を学習するとともに、日常の行動や心理について心理学全般の基礎知識を習得すること。

教材

教科書(テキスト) テキスト以外
 「テキスト心理学 心の理解を求めて」
 橋本憲尚 ミネルヴァ書房

評価方法

定期試験80%、授業態度20%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

心のはたらきを直接見ることはできません。この見えないものに対してできるだけ客観的な理解を試みるのが心理学です。授業を通じて、これまで以上に私たちの心について知ることの重要性を理解するよう望みます。また、疑問や質問があれば、積極的にたずねてください。

授業計画

- 1 心理学入門
- 2 感覚・知覚
- 3 認知、思考
- 4 記憶1 記憶の構造
- 5 記憶2 忘却、変容
- 6 動機づけ、欲求
- 7 感情
- 8 学習
- 9 発達
- 10 パーソナリティ1 理論
- 11 パーソナリティ2 測定方法
- 12 社会心理1 対人認知
- 13 社会心理2 集団
- 14 臨床心理
- 15 総合

教養科目 シラバス

100013			
科目名	環境論	年次配当	2年次
担当者	綾木 義和 他	開講時期	前期
所属	非常勤講師 他	資格選択区分	ビジネス実務士資格選択必修 (住デ)
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	若干名

授業概要	
2人の本学教員の他に、2人の非常勤講師のもとに授業を行う。それぞれの教員・講師の各分野・専門の立場から、「環境と人間」を主題として1回ごとにひとつのテーマで講義する。	
到達目標	
一つ一つの課題を学習しながら、人間が環境に対してどのような関わり方をしてきたのかを理解し、傷ついた自然を回復するのに人間はどのようなことをしたらよいのかを、自らの生き方において考え、実行することを自覚する。関心のある課題の一つを選び、学習をしてレポートして欲しい。	
教材	
教科書(テキスト) なし	テキスト以外 資料 スライド
評価方法	
レポート60%、小テスト40%	
学生に対するメッセージ (準備学習等)	
<p>学生諸君には、つぎの3点を認識して欲しいです。</p> <p>1. ヒトは自然と共存している。 2. 生物は共生している。</p> <p>3. 道端の草花や、小さな虫たちも生きるために必要な空間をもっている。</p> <p>私たちは自然の中でたくさんの生き物たちと、共に生きていることを再確認すること。</p>	

授業計画	
1 緑はいのちを養う	非常勤講師： 綾木義和
2 すべての生き物は運命共同体	非常勤講師： 綾木義和
3 ヒトと微生物の共生	非常勤講師： 綾木義和
4 地球温暖化・・・海水面の上昇、異常気象	非常勤講師： 森本直知
5 自然と遊び、自然に学ぶ	本学准教授： 近藤 剛
6 中海・宍道湖から見えてくる環境問題	非常勤講師： 森本直知
7 オゾン層の破壊	非常勤講師： 綾木義和
8 自然と共生する農業	非常勤講師： 森本直知
9 大量生産、大量消費のつけ	非常勤講師： 綾木義和
10 リサイクルと環境保全	非常勤講師： 森本直知
11 見えないごみの恐怖	非常勤講師： 綾木義和
12 酸性雨の影響、熱帯雨林の減少、森の破壊	非常勤講師： 森本直知
13 乾燥地の砂漠化・・・草原が消える	非常勤講師： 森本直知
14 環境の経済学	本学助教： 藤本晴久
15 エネルギー消費量の増加・・・環境負荷の増大と富の偏在	非常勤講師： 綾木義和

教養科目 シラバス

100005			
科目名	芸術	年次配当	2年次
担当者	白石由美子・羽根田真弓・宮崎百合	開講時期	後期
所属	幼児教育保育学科	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	5名

授業概要

多くの芸術作品を鑑賞し、その歴史や作品の背景を学ぶ。またそれらを生活の中に積極的に取り入れる事により、美に対する意識を養う。具体的な題材には古典芸術作品、オペラ、歌曲、映画などを用いる。今年度は音楽・美術分野を中心に講義をする。

到達目標

芸術と人の関係に気付き、その価値についての認識を持つ。合わせて積極的に芸術と関わろうとする。

教材

教科書(テキスト)

テキスト以外
適宜 資料配布

評価方法

試験40%、提出物50%、授業態度10%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

オペラや映画、沢山の芸術作品を鑑賞して本物の美にふれよう。芸術とは何かを自らに問いかけ、考える。豊かな時代を生きる若者たちの芸術に対する意識づけを行なう。

授業計画

1	芸術とは?		白石 由美子
2	人と声、狂言の世界(人間ドキュメント)		白石 由美子
3	オペラ鑑賞「フィガロの結婚」		白石 由美子
4	芸術歌曲演習		白石 由美子
5	日本人と西洋音楽その1～滝廉太郎の生涯から		羽根田 真弓
6	日本人と西洋音楽その2～滝廉太郎の生涯から		羽根田 真弓
7	日本の伝統音楽		羽根田 真弓
8	名画の中の音楽～The Sound of Music		羽根田 真弓
9	名画の中の音楽～The Sound of Music		羽根田 真弓
10	「象徴」～絵にかくされた意味を探る	西洋絵画①	宮崎 百合
11	〃	西洋絵画②	宮崎 百合
12	〃	西洋絵画③	宮崎 百合
13	〃	日本の絵画①	宮崎 百合
14	〃	日本の絵画②	宮崎 百合
15	芸術コンサート		白石 由美子

講義の順番は入れ替わることがあります。

教養科目 シラバス

100045			
科目名	女性論・男性論	年次配当	2年次
担当者	山田 修平 他	開講時期	後期
所属	学長 他	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	10名

授業概要

男女それぞれの生き方、関わり方を、心理、自立、人権、経済、労働、また海外事情と多面的に考える。学内外複数の教員がリレー方式で講義すると共に、テーマに関する映画を鑑賞する。さらに学生自らが組み立てる授業時間も設ける。単に聞くだけではなく、考え、話し合うことも重視する。

到達目標

男女共同参画は時代のキーワードの一つだ。政治、経済、社会、従来男性中心であったさまざまな分野で多くの女性が活躍する。他方、女性の分野といわれていた保育、介護の分野への男性の進出も進んでいる。しかし家庭に於ける家事、育児、介護はまだ女性が意識的にも、実態としても背負っている。これからの男女の生き方、また真のパートナーシップのあり方を自分自身の問題としてとらえられるようにする。

教材

教科書(テキスト)	テキスト以外
テキストは用いない	随時資料を配布する

評価方法

レポート70%、小レポート20%、授業態度10%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

2年生後期の教養科目。おそらく多くの学生は教養分野における必要な単位は取得していよう。単位、成績のために履修するのではなく、自分自身の今後の生き方の参考のために心から学びたい学生のみが履修して欲しい。きっと君自身のこれからの人生のヒントになることは多い筈だ。女性問題は、即、男性問題だ。女子学生、男子学生、私たち教職員、そして卒業生、また地域の方々も巻き込んで学び合おう。

授業計画 (現時点の予定であり、講師、内容等の変更はあり得る。)

1	本科目の趣旨、授業方針、授業計画、映画「クレイマー・クレイマー」(1)	山田 修平
2	「クレイマー・クレイマー」(2) -良妻賢母と一人の女性としての自立の狭間で-	山田 修平
3	女性の心理、男性の心理	河村 壮一郎
4	農業と女性 -典型的にみられる女性問題-	野津 和功
5	ドラマ「もうひとつの象の背中」余命6か月 ・父と娘 ・女友達	山田 修平
6	ドラマ「もうひとつの象の背中」余命6か月 ・父と息子 ・それぞれの秋	山田 修平
7	虐待やDVに対して支援者は何をすべきか	特別講師を予定
8	私たちの暮らしと税金 -クイズで考えよう・税金は男女平等か- 倉吉法人会	山田 修平
9	セクシュアル・ハラスメントを考える	岩井 和由
10	男女のパートナーシップのために	池谷 千恵
11	男性の立場からみた自立	荒井 優
12	女性の立場から見た自立	川口 康子
13	教育の中の性差	中嶋 邦彦
14	学生特別企画 -学生が自ら授業をつくります-	学生企画委員会
15	もし男と女が入れ代わったら? まとめ レポート提出	山田 修平